

松本市とJR東日本が
「松本駅周辺における松本市の中核中核都市機能強化に関する連携協定」を締結

松本市（市長 菅谷 昭／以下、市）と東日本旅客鉄道株式会社（執行役員長野支社長 伊藤 悦郎／以下、JR東日本）は、松本市が活力ある地域社会を維持する中心・拠点として、中核中核都市機能の強化に取り組むため、連携協定を締結しました。

1. 協定名

松本駅周辺における松本市の中核中核都市機能強化に関する連携協定

2. 締結日

2019年6月13日（木）

同日 10：30 から松本市役所にて締結式を開催（写真）

3. 連携協定の概要

○目的

松本市とJR東日本が相互に連携・協力しながら、松本市が活力ある地域社会を維持するための中心・拠点として、近隣市村を含めた圏全体の経済、生活を支え、圏域から東京圏への人口流出を抑制する中核中核都市としての機能を強化する取組みを推進することを目的とする。

○連携事項

- （1）コンパクトで魅力あるまちづくりに関すること。
- （2）定住人口・交流人口・関係人口の拡大に関すること。
- （3）地域経済の活性化に関すること。

